

1面のコラム「<sup>しゃめん</sup>斜面」を読もう

斜面

2021.4.10

韓国と北朝鮮の合同チーム「코리아」が初めて国際大会に出たのは1991年、千葉で開いた卓球の世界選手権

だ。長野市東和田の体育館で初の合同練習をした。硬かった選手たちをほぐしてくれたのは、サッカーボールだったという◆半日を費やして遊び、ここから女子団体優勝へとつなげた。世話をした松本市の小岩井孝さんに生前聞いたエピソードだ。合同練習は小岩井さんの大学の後輩で国際卓球連盟会長だった荻村伊智朗氏が尽力。五輪の長野招致を視野に入れた計ら이었다◆長野五輪で合同チームは実現しなかった。それでも北朝鮮の選手が市内の小学校と交流したり、南北の人々が等しく声援を送ったり。選手村では同じ種目の選手同士が偶然出会い、言葉交わしていた。韓国選手は「思いがけない喜びだった。ああ、これが五輪なんだ」と言った◆国家間の対立を超えるスポーツの力を感じたが、来日した北朝鮮のIOC委員は「スポーツは政治を変えられない」と断言した。確かに現実には政治がスポーツを変えている。国威発揚や外交の道具として。東京五輪の不参加はコロナが理由かどうか…◆東京の感染は再び拡大中だ。不安が大きいのは事実だろう。同じ思いの国もあるのでは。政治を離れ、純粹にスポーツの視点で最善の道を選ぶ場面が迫る。融和の記憶を刻んだナガノから彼の地の今を思い、東京五輪を考えている。世界が集い、出会いに満ちた「広場」は生まれるのか。

斜面

2021.4.15

「初恋」「夜桜」「魔王」「楊貴妃」。すべてある生きものに付けられた名だ。それはメダカ。久々にペットシ

ヨップの売り場をのぞき、種類の多さに驚いた。赤、白、黒、メダリック…。形もさまざまで、メダカのイメージが変わる◆店員さんによると、十数年前、新品種からブームに火が付いた。飼育が楽ですぐに繁殖するので愛好者が増えて、コロナ下で人気はまた上向きという。値段は1匹数十円から数千円と幅広い。新しい品種が登場すると、つがいで20万円もの値が付くとも◆この春、子どもが家から離れて夫婦2人暮らしになった筆者。寂しさを埋めたい気持ちからなのか、「何か生きものを育ててみたい」と思っていた。6匹と鉢、水草、餌を買った。水中の世界を眺めているだけで目は細くなり、口元が緩む。暖かくなれば産卵も―と楽しみになる◆改良品種が人気を集める陰で、野生のメダカは苦境にある。流れが緩く草の生えた水路や湿地が生息の適地だが、水路の改良や水田の減少といった環境変化、外来魚による捕食などの影響で姿を消しつつある。長野県版レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類だ◆加えて心配なのが、飼えなくなつて放流した改良品種と在来メダカの交雑。人の手で生み出したメダカは自然環境に適応できない可能性がある。その遺伝子が在来種に広がると、地域固有の群れの存続を危うくしかねないと聞く。簡単に飼える小さなメダカでも飼い主の責任は小さくない。

しゃめん  
1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2021. 4. 10

かんこくときたちよ  
うせんのごうどう  
チーム「コリア」  
がはじめてこくさ

いたいかいにでたのは19  
91ねん、ちばでひらいた  
たつきゅうのせかいせんしゅ  
けんだ。ながのし東和田の  
たいいくかんではつのごう  
どうれんしゅをした。か  
たかったせんしゅたちをほ  
ぐしてくれたのは、サッカー  
ボールだったという◆はん  
にちをついやしてあそび、  
ここからじょしだんたいゆ  
うしょうへとつなげた。せ  
わをしたまつもとしの小岩  
井孝さんにせいぜんきいた  
エピソードだ。ごうどうれ  
んしゅは小岩井さんのだ  
いがくのこうはいでこくさ  
いたつきゅうれんめいかい  
ちようだった荻村伊智朗し  
がじんりよく。ごりんのな  
がのしょうちをしやにいれ  
たはからいだった◆ながの  
ごりんでごうどうチームは  
じつげんしなかつた。それ  
でもきたちようせんのせん  
しゅがしないのしょうがつ  
こうとこうりゅうしたり、  
なんぼくのひとびとがひと  
しくせいえんをおくったり。  
せんしゅむらではおなじしゅ

もくのせんしゅどうしがぐ  
うぜんであい、ことばをか  
わしていた。かんこくせん  
しゅは「おもいがけないよ  
ろこびだった。ああ、これ  
がごりんなんだ」といった  
◆こっかかんのたいりつを  
こえるスポーツのちからを  
かんじたが、らいにちした  
きたちようせんのIOCい  
いは「スポーツはせいじ  
をかえられない」とだんげ  
んした。たしかにげんじつ  
はせいじがスポーツをかえ  
ている。こくいはつようや  
がいこうのどうぐとして。  
どうきょうごりんのふさん  
かはコロナがりゅうだとい  
うが：◆どうきょうのかん  
せんはふたたびかくだいちゅ  
うだ。ふあんがおおきいの  
はじじつだろ。おなじお  
もいのくにもあるのでは。  
せいじをはなれ、じゅんす  
いにスポーツのしてんでさ  
いぜんのみちをえらぶばめ  
んがせまる。ゆうわのきお  
くをきざんだナガノからか  
のちのいまをおもい、どう  
きょうごりんをかながえて  
いる。せかいがつどい、で  
あいにみちた「ひろば」は  
うまれるのか！。





## 1面のコラム「斜面」を読もう

### 斜面

2021.4.10

韓国と北朝鮮の合同チーム「코리아」が初めて国際大会に出たのは1991年、千葉で開いた卓球の世界選手権

だ。長野市東和田の体育館で初の合同練習をした。硬かった選手たちをほぐしてくれたのは、サッカーボールだったという◆半日を費やして遊び、ここから女子団体優勝へとつなげた。世話をした松本市の小岩井孝さんに生前聞いたエピソードだ。合同練習は小岩井さんの大学の後輩で国際卓球連盟会長だった荻村伊智朗氏が尽力。五輪の長野招致を視野に入れた計ら이었다◆長野五輪で合同チームは実現しなかった。それでも北朝鮮の選手が市内の小学校と交流したり、南北の人々が等しく声援を送ったり。選手村では同じ種目の選手同士が偶然出会い、言葉を交わしていた。韓国選手は「思いがけない喜びだった。ああ、これが五輪なんだ」と言った◆国家間の対立を超えるスポーツの力を感じたが、来日した北朝鮮のIOC委員は「スポーツは政治を変えられない」と断言した。確かに現実には政治がスポーツを変えている。国威発揚や外交の道具として。東京五輪の不参加はコロナが理由だというが…◆東京の感染は再び拡大中だ。不安が大きいのは事実だろう。同じ思いの国もあるのでは。政治を離れ、純粋にスポーツの視点で最善の道を選ぶ場面が迫る。融和の記憶を刻んだナガノから彼の地の今を思い、東京五輪を考えている。世界が集い、出会いに満ちた「広場」は生まれるのか。

### 斜面

2021.4.15

「初恋」「夜桜」「魔王」「楊貴妃」。すべてある生きものに付けられた名だ。それはメダカ。久々にペットシ

ヨップの売り場をのぞき、種類の多さに驚いた。赤、白、黒、メダリック…。形もさまざまで、メダカのイメージが変わる◆店員さんによると、十数年前、新品種からブームに火が付いた。飼育が楽ですぐに繁殖するので愛好者が増えて、コロナ下で人気はまた上向きという。値段は1匹数十円から数千円と幅広い。新しい品種が登場すると、つがいで20万円もの値が付くとも◆この春、子どもが家から離れて夫婦2人暮らしになった筆者。寂しさを埋めたい気持ちからなのか、「何か生きものを育ててみたい」と思っていた。6匹と鉢、水草、餌を買った。水中の世界を眺めているだけで目は細くなり、口元が緩む。暖かくなれば産卵も―と楽しみになる◆改良品種が人気を集める陰で、野生のメダカは苦境にある。流れが緩く草の生えた水路や湿地が生息の適地だが、水路の改良や水田の減少といった環境変化、外来魚による捕食などの影響で姿を消しつつある。長野県版レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類だ◆加えて心配なのが、飼えなくなつて放流した改良品種と在来メダカの交雑。人の手で生み出したメダカは自然環境に適応できない可能性がある。その遺伝子が在来種に広がると、地域固有の群れの存続を危うくしかねないと聞く。簡単に飼える小さなメダカでも飼い主の責任は小さくない。

## 1面のコラム「斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

### 斜面

2021. 4. 10

かんこくときたちよ  
うせんのごうどう  
チーム「コリア」  
がはじめてこくさ  
いたいかいにでたのは19  
91ねん、ちばでひらいた  
たつきゅうのせかいせんしゅ  
けんだ。ながのし東和田の  
たいいくかんではつのごう  
どうれんしゅをした。か  
たかったせんしゅたちをほ  
ぐしてくれたのは、サッカー  
ボールだったという◆はん  
にちをついやしてあそび、  
ここからじょしだんたいゆ  
うしょうへとつなげた。せ  
わをしたまつもとしの小岩  
井孝さんにせいぜんきいた  
エピソードだ。ごうどうれ  
んしゅうは小岩井さんのだ  
いがくのこうはいでこくさ  
いたつきゅうれんめいかい  
ちようだった荻村伊智朗し  
がじんりよく。ごりんのな  
がのしょうちをしやにいれ  
たはからいだった◆ながの  
ごりんでごうどうチームは  
じつげんしなかつた。それ  
でもきたちようせんのせん  
しゅがしないのしょうがつ  
こうとこうりゅうしたり、  
なんぼくのひとびとがひと  
しくせいえんをおくったり。  
せんしゅむらではおなじしゅ

もくのせんしゅどうしがぐ  
うぜんであい、ことばをか  
わしていた。かんこくせん  
しゅは「おもいがけないよ  
ろこびだった。ああ、これ  
がごりんなんだ」といった  
◆こっかかんのたいりつを  
こえるスポーツのちからを  
かんじたが、らいにちした  
きたちようせんのIOCい  
いは「スポーツはせいじ  
をかえられない」とだんげ  
んした。たしかにげんじつ  
はせいじがスポーツをかえ  
ている。こくいはつようや  
がいこうのどうぐとして。  
とうきようごりんのふさん  
かはコロナがりゅうだとい  
うが：◆とうきようのかん  
せんはふたたびかくだいちゅ  
うだ。ふあんがおおきいの  
はじじつだろ。おなじお  
もいのくにもあるのでは。  
せいじをはなれ、じゅんす  
いにスポーツのしてんでさ  
いぜんのみちをえらぶばめ  
んがせまる。ゆうわのきお  
くをきざんだナガノからか  
のちのいまをおもい、とう  
きようごりんをかながえて  
いる。せかいがつどい、で  
あいにみちた「ひろば」は  
うまれるのか！。

### コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

## 斜面

2021.4.15

「初恋」「夜桜」「魔王」「楊貴妃」。すべてある生きものに付けられた名だ。それはメダカ。久々にペットシ

ヨップの売り場をのぞき、種類の多さに驚いた。赤、白、黒、メタリック…。形もさまざまで、メダカのイメージが変わる◆店員さんによると、十数年前、新品種からブームに火が付いた。飼育が楽ですぐに繁殖するので愛好者が増えて、コロナ下で人気はまた上向きという。値段は1匹数十円から数千円と幅広い。新しい品種が登場すると、つがいでも20万円もの値が付くことも◆この春、子どもが家から離れて夫婦2人暮らしになった筆者。寂しさを埋めたい気持ちからなのか、「何か生きものを育ててみたい」と思っていた。6匹と鉢、水草、餌を買った。水中の世界を眺めているだけで目は細くなり、口元が緩む。暖かくなれば産卵も―と楽しみになる◆改良品種が人気を集める陰で、野生のメダカは苦境にある。流れが緩く草の生えた水路や湿地が生息の適地だが、水路の改良や水田の減少といった環境変化、外来魚による捕食などの影響で姿を消しつつある。長野県版レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類だ◆加えて心配なのが、飼えなくなつて放流した改良品種と在来メダカの交雑。人の手で生み出したメダカは自然環境に適応できない可能性がある。その遺伝子が在来種に広がると、地域固有の群れの存続を危うくしかねないと聞く。簡単に飼える小さなメダカでも飼い主の責任は小さくない。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

Three large dashed boxes for student responses.

( ) ( ) ( )

伝えたい順番